

コード No. 16141

**Anti-
MBP Rabbit Serum**

容量 : 0.2 mL

MBP : Myelin Basic Protein

はじめに : ミエリン塩基性タンパク質(MBP)は中枢神経系(CNS)における、神経の髄鞘形成の過程において重要に働くタンパク質と考えられています。MBP はミエリン膜から分離され、1979年にその配列が同定されました。その後 MBP 欠乏マウスが開発され、その症状として中枢ミエリン髄鞘形成量の減少、震え、発作、および早死に特徴付けられる進行性疾患が示されました。MBP 遺伝子は、第 18 番染色体上にあり、そのタンパク質は中枢神経系や細網内皮系の様々な細胞に局在しています。中枢神経系における MBP は、発現されるいくつかのスプライス変異体や MBP 上で受けるリン酸化、メチル化、脱アミノ化、およびシトルリン化などにより多くの翻訳後修飾体など非常に多様に存在しています。

免疫抗原 : Guinea Pig MBP

由来 : 血清

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 0.2 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.2 mL 添加

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 1,000 倍希釈にて使用可能 (ホルマリン固定、パラフィン切片)
使用方法

特異性 : Human, Rat, Mouse と交差
Human, Rat の Peripheral Nerve にて確認